



## 良い絵をみることは 心の洗濯に

東御美術会長 高藤 俊幸

東御美術会の前身は、丸山晚霞の出身地である祢津村に昭和24年に創設された祢津美術会であり、その後、東部町美術会に継承され、本年東御美術会として60周年を迎えました。現在の会員数は34名で、会員相互の技術向上と連携を深める中で創作活動に励んでいます。

絵画は同じ物を描いても、絵の具、墨色や表現力の違いなどで世界中で唯一の作品が誕生します。それが個性であり、感性であります。その絵から作者の感動がどれ程伝えられるかで絵の価値は決まります。私は年に2〜3回絵画展を見に行きますが、さすが名画の前は人の山です。それは形、色、光の表現が美しいこと、作者の感動をズバツと表現できているからです。良い絵を見ると心が洗われ、落ち着いた気分になり、そこに新たな空間が生まれます。気がつくとも自分のまわりには人の輪ができ、豊かさを感じる生活が営まれるはずですよ。

まずは、身近な展示会に出掛けて良い絵を見ましょう。そして何でも良いから好きなことを始めよう。



会計 山浦 隆子  
副会長 青木 嘉子  
副会長 関 誠  
会長 貢 甚一郎

東御市文化協会報「せせらぎ」は、文化協会の活動内容を会員はもとより、全市民の皆様にもお伝えするべく、第1号（昭和59年発行）より今回は第29号の発行となりました。会員の活動状況を多くの皆様にご報告いただき、ご理解を頂くことが明日への活動の源に繋がることと考えております。最近各グループの活動が活発でも有り「会場の確保」につきましても大変困窮している状況にあります。市の関係施設としては、中央公民館を始め、文化会館及び各地区館（滋野・祢津・和・北御牧）がありますが何れも高い利用率を呈しており、文化会館につ

## 協働のまちづくりを「文化」に

東御市長 花岡 利夫



私たちの生活には、「ハレ」のまつりごとと「ケ」の日常があります。その何気ない日々の生活である「ケ」の日常の中にも文化は息づいています。

それはやさしさだったり、鼻歌だったり、道のゴミを拾ったり、挨拶を大切にしたり……こんな小さな日常の中に文化の芽は着実に育っています。そして最初はギコチなものが、いつか自然に、

## いあいさし

東御市文化協会長 貢 甚一郎

いつかみんなで、文化となって結実し定着していきます。市の文化活動の殿堂である中央公民館が、大規模改修されます。この中央公民館が使えない非日常の中で、私たちは二つのチエが求められています。その一つは、休館中の活動をどうするか皆さんで頭をヒネリ、チエを出し活動を続けること。もう一つは、皆さんのチエを結集してより使い勝手の良い素晴らしい中央公民館に生まれ変わらせることです。今、皆さんが共にチエを出し合い、共に汗をかいていただいている日常の中に、東御市の協働のまちづくりという文化が育ちつつあることを確信しています。きましては先ごろ一室を改修して頂き、僅かながらでも改善に向かっていきます。今後、更なる改善を要望してまいりたいと考えております。「発表の場」の拡充としてまは、市の関係施設でもあります「湯楽里館」「ゆうふる t a n a k a」「御牧乃湯」「明神館」「道の駅雷電くるみの里」の計5施設につきましては関係方面のご協力により、展示及び発表会等が可能となりました。日頃の活動結果を広く外に向けてアピールして行くことも大いに有効なことではなでしょうか。「文化の殿堂！」であります「文化会館」は来年、開館20年となります。各種設備関係も更新されつつ有り、来年に向けての活動準備にも更に力が入ることと思っております。会員数につきましては、今年は100名程の増加となっております。各グループの皆様の日頃の弛まない努力の結果でも有り、更なるご配慮をお願いしたいと考えております。

今、改めて30周年時に発行されました「あゆみ（冊子）」を読み返していますが、諸先輩の活動には感謝と感慨をしております。再来年の40周年に向けて準備して参ります。

### 平成22年度 東御市文化協会役員名簿

教養部会	カラオケ部会	料理部会	川柳部会	邦楽部会	文芸創作部会	棋道部会	ダンス部会	音楽部会	陶芸部会	俳句部会	短歌部会	園芸部会	工芸部会	手芸部会	茶道部会	華道部会	合唱部会	謡曲部会	詩吟部会	舞踊部会	民謡部会	彫刻部会	書道部会	写真部会	絵画部会	監事	監事	副会長	副会長	副会長	
荒井良勝	中村善泰	清水美幸	丸山林子	小村経直	奥村宣夫	増田敬子	石和敬	金児充	細田あや子	塩野入靖夫	丸山利江	寺田泰明	田中淳子	小林由美子	新保俊子	佐藤充子	庄村源茂	中山源寿	前田幸雄	上原けさえ	船田利明	近喰和夫	山岸一郎	土屋孝吉	高藤俊幸	田中弘子	佐藤雄治	山浦隆子	青木嘉子	関誠	貢甚一郎

# 退任のご挨拶



前副会長  
小林 泉

平成19年より三年間、皆様のご協力をいただきまして、副会長を務めることができました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

この三年間に、「部会の見直し」を検討して頂き、今後文化協会が益々充実していくものと願っております。

二年後には、文化協会40周年を迎えますが、実行委員の皆様方で、素晴らしい記念事業が出来ますよう、よろしくお願い致します。

東御市文化協会のこれからの発展と会員の皆様のご活躍をご祈念申し上げます。退任の言葉とさせていただきます。

# 新任のご挨拶

文化協会副会長 関 誠

本年より副会長を、お受けする事になりましたが、元よりその器ではございません。二千名にも及ぶ協会員をみる時、改めてその重責を痛感させられます。お受けしてすでに半年が過ぎ、その責務を十分はたせたか大変忸怩たる思いです。会員の皆様の温かいご指導ご協力を賜りますよう心よりお願いし、一生懸命務めさせて頂きますので、何卒よろしくお願い致します。

平成22年度

## 東御市文化協会

### 功労者表彰受賞者

4月15日総会の式典において文化振興に尽くされた功績により、左記の方々が受賞されました。

功労者表彰受賞者

顧問 関 義豊  
写真 佐藤 利秋

### 御礼のことば



功労受賞者  
関 義豊

本年度の文化協会の総会におきまして、私が一月の宮中歌会始に「佳作」入選した事に、文化協会より功労賞を賜りここに厚く御礼申し上げます。

私が短歌を習い協会に入会した頃は、今の中央公民館はありませんでした。旧東部町の短歌は、祢津の矢島米人先生始め十名位の諸先輩の方々が「川のり会」という歌会が最初と伝えられております。

私もその矢島先生より短歌の手ほどきを受け、以来各処の歌会を経て、今年で35年になります。今回入選した事は文化協会のクラブの今は亡き矢島先

生始め、諸先生と諸先輩と多くの歌友諸氏のご指導の賜と心より感謝を申し上げます。

これからも東御市文化協会の益々のご発展をご祈念申し上げます。受賞の御礼のことばと致します。

### 功労者賞を受賞して



功労受賞者  
佐藤 利秋

私がこの度思いもかけない功労者賞を戴く事が出来ましたのは、永年当協会の役員を勤めさせて頂いた事に依るものと思います。その間、会長を始め多くの皆様に大変親しくご交誼頂き、お世話になりました。私の人生の良き思い出の一コマです。私は今日迄写真を趣味としてカメラを友に、いろいろな国へ気の向くまま出掛けては、多くの人達に接し、沢山の思い出を残して来ました。それもカメラが取り持った縁だと思えます。これからも体力の許す限り趣味の写真に時間を費やす事が出来たら、本当に幸せです。それには先ず健康が第一です。会員の皆様も、呉々もご自愛の上、それぞれの趣味を生かされて生き甲斐のある日々を過ごされます様切望致します。

## 平成22年度 文化協会のあゆみ

- 平成22年12月5日 第6回東御市合唱祭
- 平成22年1月5日 第6回東御市新春書初め大会
- 1月13日～19日 第1回彩明会水彩画発表会
- 3月7日 平成21年度いきいき生涯学習塾開講式
- 3月13日～14日 第6回書道部会会員展
- 3月19日 平成21年度第3回常任理事会
- 4月4日 第18回邦楽部会発表会
- 4月10日 第31回民謡部会発表会
- 4月10日～11日 第12回大田区・東御市交流開基大会
- 4月10日～18日 第3回東御市油絵同好会作品展
- 4月11日 第31回舞踊部会発表会
- 4月15日 平成22年度文化協会総会
- 4月18日 ダンススピリッツ発表会
- 4月20日 いきいき生涯学習塾開講式
- 4月24日 第30回琴伝流大正琴発表会
- 4月29日 大正琴鈴木会第30回定期発表会
- 5月11日～19日 第15回香東会書展
- 5月27日 平成22年度第1回常任理事会
- 6月6日 第41回聖風流東部吟道会温習大会
- 7月5日 「市関係施設5箇所」の展示演奏関係スタート
- 7月18日 第21回文化協会長杯囲碁大会
- 8月27日 平成22年度第2回常任理事会
- 8月29日 第15回カラオケ部会発表会
- 9月28日 文化協会役員研修旅行
- 9月28日 第14回SFCいさなちいさな写真展
- 9月28日 第4回音楽部会発表会
- 10月17日 書道部会研修旅行
- 10月22日 第28回T.N.S.ジャズオーケストラ定期演奏会
- 10月23日 好遊倶楽部（まろにエクラブ）展
- 10月26日～31日 第7回東御市総合文化フェスティバル
- 10月30日～31日 東御市菊花会第7回菊花展
- 10月30日～31日 東御美術会発足60周年記念展
- 11月14日～21日 第7回東御市短詩型文学祭
- 11月27日 「せせらぎ第29号」発行
- 12月1日 高齢者センター「ほめいギャラリー」の展示
- 広報委員会（せせらぎ・ホームページ等）
- 三役会・事務局

園芸部会

草花に親しむ茜会

浅川寿美子

茜会は、生涯学習「草花に親しむ会」の卒業生有志の集まりです。月に一度春原先生のもと、草花の育て方、ふく助作りを学んだり種の交換をしたりなど、家の回りに少しずつ色々な草花が増えていくことを楽しみに頑張っています。

又、野草園、バラ園を尋ね、今度どんな草花を育ててみようなどと楽しみながら刺激をいただいている会です。



短歌部会

短歌に心ひかれて

部会長 丸山 利江

短歌部会には「東詠会」「短歌蒲公英」「とうぶ短歌会」等があります。各会にはそれぞれ長い歴史があり、

ご指導頂いた先生方、現在お教え頂

いている先生方、

先輩の方々に支

えられて楽しく短

歌を勉強

しております。短歌部会では故宮崎盛登先生とのご縁で、「良寛の里めぐり」出雲崎一泊の合同吟行会を行ないよい思い出となりました。

普段顔を合せる機会のない短歌部会ではありますが、「東御市短詩型文学祭」への参加と、「東御市総合文化フェスティバル」への作品展示が、共通の年中行事となっております。

私達会員の願いは、一人でも多くの方に短歌にお気持ちをお寄せ頂き、一緒に歌を詠み続けてゆきたいということです。お声をお掛け下さい。



俳句部会

みんな仲良く五七五

部会長 塩野入靖夫

俳句部会には現在、こまくさ句会(黒姫)・木耀句会(岳)・るつば俳句会(るつば)の三グループがある。月一回の句会を開き、年一〜二回の吟行会、鍛錬会などに参加したり、かつこ内の結社へ投句し、会員相互の研鑽をすることを通して親睦を深めている。

俳句部会は、毎年東御市短詩型文学祭への投句・運営に参加することを始め、文化フェスティバルや「ほめあいギャラリー」などへの投句・展示等々にも積極的に参加している。

平成 10

年 4月27日  
には、横堰地区ため池脇に、文学碑として、「こまくさ句会碑」を設置した。湯の道を行き交う人々の旅情を慰めるのに一役買っている。



こまくさ句会碑除幕

陶芸部会

十年目の土呂く美

部会長 細田あや子

「土呂く美」。土呂と遊ぶ美人達なんてクラブ名を決めて活動を始めてから十年目に入りました。

指導して下さる先生がい

ないまま今日まで続けてこられた事が不思議です。

好きな事を気の合った仲間と楽しみながらできた事が大きな要因だと思えます。失敗したり、怒られたり、笑ったりといういろいろな事がありました。

メンバーの出入りはありましたが、今は本当に陶芸の好きな人が、試行錯誤しながら作陶したオンリーワンの作品に、喜びを感じながら頑張っています。

陶芸室の施設は他市町村に比べひどい状況です。舞台ヶ丘構想の中で施設整備が進められていますが、中央公民館の一角に陶芸室が出来ればよいなどメンバー一同願っております。



窯入れ作業

音楽部会

第4回音楽部会発表会

部会長 金児 充

平成22年10月17日(日)午後1時半より、音楽部会の発表会をサンテラスホールにて開催いたしました。オープニングのスピーチを花岡市長に飾って頂き、トップバッター「ピチカート・アンサンブル」続いて「ザ・サンテラスバンド」(初出場)、「エオリア」「あうん」そして大取りは「TNS」と全5グループによる演奏会となりました。今年には常連の「ハーモニカクラブ」の皆さんが参加されず残念でしたが、次回の演奏を期待しております。

次回というと来年は文化会館創立20周年ということですので、新たな企画を検討中です。面白いアイデアがありましたら部会長までどんどんお寄せ下さい。



ダンス部会

表情豊かに自己表現

部会長 石和 敬子

ダンス部会は現在15グループが加盟しています。ダンスのジャンルは、クラシックバレエ・フォークダンス・社交ダンス・ジャズダンス・ヒップホップ・フラダンス・手話ダンスと多岐にわたります。所属メンバーは子どもから大人まで幅広く、それぞれの自己表現を、指導者のもと、あるいは仲間同士で技術を高め合うことにより暮らしに彩りを添える活動を行っています。市の行事等にも多数出演し、市民の皆様にお目にかかることも大きな喜びです。

写真は、クラシックバレエ研究会による、老人ホームの慰問公演です。



棋道部会

頭脳スポーツ「棋道」

部会長 増田 宣夫

「将棋」と「囲碁」のグループがあり、毎月の定例会と二ヶ月毎の大会を行っています。(於中央公民館) 古来より「碁棋書画」は君子の嗜みの一つとも言われているので「碁」とは「囲碁」のことです。「囲碁」発祥の地は中国説が有力で、その歴史はふるく紀元前四世紀頃の文献に「碁」という文字が見られるそうです。日本でも平安中期になると貴族の中でも女性の間に大いに流行していたそうです。碁碁は人類史上最最高のゲーム、碁碁と同じくらいおもしろい新ゲームを発見することは多分不可能と言われています。最近「頭脳スポーツ」と言われ、大人から子供まで楽しめる「碁」ルールは至って簡単です。入門者、初心者の方大歓迎です。



入門者、初心者の方大歓迎です。

文芸創作部会

多彩なグループ

部会長 奥村 直

文芸創作部会は、6グループで構成されています。以下頂いた資料による各グループのご紹介です(五十音順)。WALNUTS(代表 新田敬子) 英会話を毎月2回学習する。英語で外国童話を読む会(代表 清野竜) 毎月1回外国童話を原書で読む。エスベラントとつみ(代表 渋谷泰二) 国際語エスベラントを初歩から学ぶ。かぼちゃの会(代表 小田中柚子) 東御市に伝わる話を大型紙芝居などにして発表。



軽井沢追分のホームズ銅像を訪問

声に出して本を読む会「ほたる」(代表 別府明子) 施設等へ読みに行っている。シャーロック・ホームズと親しむ会(代表 奥村直) 文字通りS・Hの研究団体。極めて多彩なグループですが、寄せられたコメントは紙面の都合で割愛。申し訳ありません。興味のおありの方は事務局までお問い合わせください。

**邦楽部会**

**研鑽積み合う邦楽部会**

部会長 小林 経子

当初は、箏、大正琴のグループで、「邦楽部会」を形成しましたが、近年は、鼓・三味線・太鼓等のグループが加わりました。「邦楽」の意味として、狭義には、江戸時代に発表された三味線・箏などを用いる音楽とありますが、邦楽部会になったいわれは判りません。

何であれ、グループに加わった皆さんが、何でも言えて、仲良く出来る。をモットーに、発表会に向け行動を開始しております。

ちなみに、発表会は、来年3月5日、サンテラスホールで行う事に決まりました。

各々が研鑽を積み、多くの皆様に感動を与える舞台にしたいと努力中です。

是非多くの方々に発表会に足を運んで頂きたく、お願い申し上げます。



**川柳部会**

**とうぶ川柳今昔物語**

部会長 丸山 孔男

昭和59年秋の取り入れも終る頃、田沢の田中勲（蛙声）さんが、東入の田中世詩子さんから、「町で川柳を始めたいがそんな人を見つけて欲しい」と言われた。女性捜しに東奔西走して、七、八人見付け、男性



は蛙声さんに任せて12人位で町の隣保館を借りて旗揚げをした。川柳のイロハから教えられた数ヶ月は夢中でした。でも段々何とか形になるには半年は経っていた様な気がします。

今、70から91歳の若者？14人が技を競って楽しんでます。

91歳の五十嵐茂子さんをはじめとして、句会をこよなく愛して一カ月が待ち遠しいと言う声も。

心の健康作りに川柳会に入会してみませんか。夜間部は滋野公民館で開講しています。農家やお勤めの方は滋野公民館へ問い合せて下さい。

**料理部会**

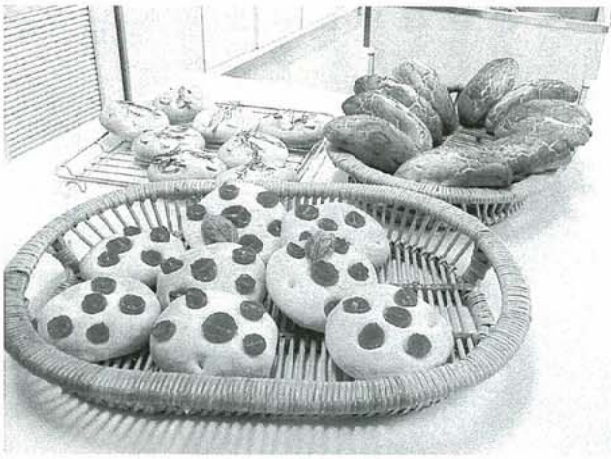
**キャロットパン**

部会長 清水 美幸

キャロットパンは、平成12年の生涯学習で一年間講習を受けた後、更に上級の資格をめざしたい人や、仲間と共に楽しくパン作りを続けたい者同志が集まって10年になります。

人数も減り、今では四名で毎月一回作ってみたいパンを、手持ちの本などから選んで、かなり本格的な域の種類まで作ります。

やきたてのパンはホカホカとして最高です。皆、笑顔で又来月を楽しみに、いろいろな話題に花が咲き一日が終ります。



**カラオケ部会**

**カラオケ部会**

部会長 中村 善泰

東御市文化協会カラオケ部会は現在十七グループ約百五十名の会員数で各グループごとに講師を招き教室や練習を行っています。毎年8月最終の日曜日にサンテラスホールに於てカラオケ部会の発表会を行って居ります。今年も8月29日（日）に第十五回発表会が盛大に行われ、沢山の市民の皆様が聴いていただきまし



高齢化社会が進むなか、老若男女特にお年寄の皆さんにご参加いただき、ますます元気で長生きしていただけたらとカラオケ部会役員一同頑張っ居ります。大勢の皆様参加をお待ちして居ります。

**教養部会**  
**日本の歴史は**  
**地方史の研究から**  
 部会長 荒井 良勝

私たちの部会は、パソコン教室と東御市郷土史研究会を合せて教養部会としております。今回は郷土史研究会の活動内容を記します。私たちの研究会は他の部会と違い、自分達の作品や練習した事を市民の皆さんに発表するという事はありません。市内に数多く残されている史跡や文化財を保護し、又言い伝えられた伝説や民話等を研究し後世に伝えて行くことが、研究会の果していく役目だと思っております。当研究会では二回の研修会を計画しています。去る8月27日には地元豪族真田氏が活躍した群馬県の史跡、岩櫃城、名胡挑戦、沼田城等の視察研修を行いました。秋の研修は地元に残されている史跡等を研修する予定です。又総会時には個々に研究したことを発表をしています。歴史に関心のある方の入会をお待ちしております。



沼田城本丸前にて

## 第7回 東御市総合文化フェスティバル

10月30日～31日 中央公民館



オープニングセレモニー



俳句



籐手芸



あみもの



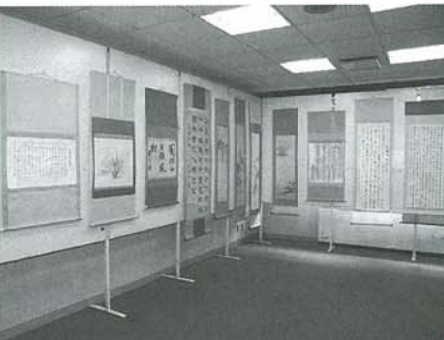
水墨画



ホームズと親しむ



ちぎり絵



表具



リフォーム洋裁



陶芸・彫刻



パッチワーク



吊るし飾



レザークラフト



華道



書道

紙面の都合により、掲載することができない写真がありますがご了承ください。



人形



菊花



スタンドグラス

### 文化協会役員研修旅行

## 古き文化の町 飯山を訪ねて

9月28日、飯山の文化施設を訪ねて25名の参加で実施されました。

高橋まゆみ人形館では、誰もが口々に「あるある」と子どものころを思い出し、人形のおばあさんのなにげない仕草を懐かしんでいました。伝統産業会館は美術館と図書館、中央公民館が併設されており、広いロビーから4か所へ移動できる雪国ならではの考えられた建物です。真宗寺は島崎藤村の小説「破戒」の主人公丑松



が下宿していたとされ、小説の一文が刻まれた石碑もあり、多くの童謡を作った高野辰之もこの寺に下宿していたと後で知りました。高野辰之記念館では、上映ビデオに合わせて童謡を口ずさむ姿も見られ、人形館と同様にしっとりとした雨の故郷の旅を満喫することが出来ました。



申し上げます。

ご覧いただいている「せせらぎ第29号」は、昨年に引き続き部会活動の紹介を中心に掲載しました。

今後も広報活動を通じて皆様のお役に立つよう努めてまいります。

(広報委員) 白倉直樹・服部外松・宮沢愛子・赤堀峰晴・坂口洋子

### 編集後記

暑さの厳しい異常気象続きの一年も後一ヶ月を残すのみとなりましたが、新しい年は、穏やかな日々を願わずにはおられません。

取材活動など不慣れな私達へ、ご支援ご協力をいただきました事、また原稿をお寄せいただきました皆様に御礼